

平成28年度 第3回江別市民健康づくり推進協議会 議事録要旨

【日時】平成28年10月6日（木）午後6時30分～

【場所】江別市保健センター 3階会議室

【出席委員】14名（笹浪会長、伊藤（洋）副会長、菅原委員、中川委員、阿部委員、尾澤委員、本山委員、武田委員、伊藤（亮）委員、中野委員、小林委員、鎌倉委員、細野委員、水谷委員）

【事務局員】11名（真屋部長、福島次長、小椋センター長、蓮田課長、佐藤参事、及川参事、江川主査、赤石主査、首藤係長、中村係長、佐々木主事）

【傍聴者】 0名

【協議事項】

(1) 健康都市宣言の策定について

(2) その他

(1) 資料1、資料2、資料3についての質疑応答・意見等

水谷委員：宣言文の中の「石狩川と原始林の恵みにいだかれ」という部分を変更した方がよいのではないかという意見があったが、私としては石狩川と原始林を入れた方が江別らしいと思う。

中川委員：前回の協議で「石狩川と原始林の恵みにいだかれ」の部分を指摘したが、恵みにいだかれの部分が意味が分からないといったが、石狩川と原始林の部分については検討していただければと思います。あとは全体的にB案でいいのではないかと思います。

尾澤委員：恵みに抱かれの部分に違和感を感じるため、そこを改善していただければと思う。

首藤係長：参考として他の都市では千葉県の君津市では「水と緑の豊かな自然と良好な都市環境に恵まれた」という表現もしている。恵みに抱かれたという表現を、自然に恵まれたという表現に変更した。健康寿命につきましてもどういう概念なのかが分かりにくい面があるため、B案のような表現にした。

中川委員：豊かな自然に対する具体的な表現があってもいいと思う。豊かな自然の具体的な案について意見をまとめてもいいと思う。

福島次長：事務局で表現の方はまとめていく。

(1) 資料4についての質疑応答・意見等

特になし

(1) 資料5、資料6についての質疑応答・意見等

尾澤委員：健康寿命延伸のため特定健診受診は大切なことだと思うが、高齢者の健康づくりのためには食生活改善について表現してほしい。

阿部委員：資料5の特定指導などの項目があるが、それ以上に大切なのが現在体育館を使用している人たちを巻き込むような事業が必要だと考える。あと、生きがいつくり活動の部分の双樹大学の部分だが、実際に地域の活動を行っているのは高齢者クラブが行っている。もう少し表現を考えてほしい。

中川委員：指標が他にないのかを聞いているのか。資料に書いている指標は江別市で保有しているものを記載しているだけなのか確認したい。

蓮田課長：江別市で把握している指標の例を掲載している。

中川委員：元々ある事業について掲示したと理解して問題ないか。

蓮田課長：はい。

中川委員：この資料の指標の他にないかありませんかときいているのか。

蓮田課長：はい。各団体様が保有している健康寿命の延伸につながる指標を教えていただきたいということである。

福島次長：市の方でも指標と取組みについては現在、市で検討中洗い出し、今出ている中で良い目標になるもの代表が黄色で表記している

中川委員：そういう趣旨であれば指標を多く取り出しすぎてもあまり意味がないと思う。項目の中で重要な指標をいくつか挙げ、反映できる事業を整理した方がいいのではないか。あまり指標を多く出しすぎても意味がないと思う。

福島次長：現在、考えられる指標を資料の方に羅列しており、中川委員の意見を取り入れて少なくすることや、また逆に指標が多い方がよいという意見も取り入れる等の調整をこれから行っていく。

中川委員：わかりました。指標が多すぎるとわかりづらいと思うので、整理していただきたい。

また、今回使用されている指標については健康都市宣言独自の数値となるのか。ほかの計画と整合性をとっているのか。

蓮田課長：他の計画とも整合性がとれています。

(2) についての質疑応答・意見等

特になし